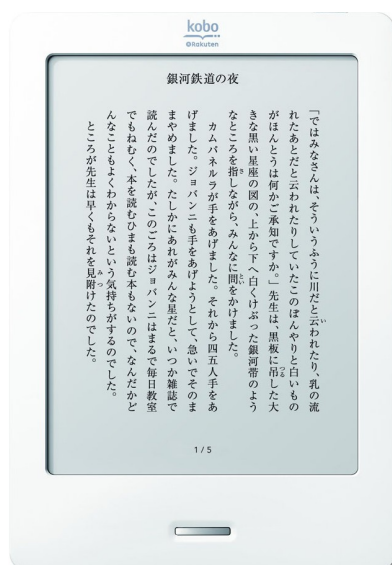


◆NEW

楽天は、7月2日、都内で記者会見し、電子書籍専用端末「コボ タッチ (kobo Touch)」を19日から出荷すると発表した。価格は7980円。これは予想通りの価格で、アマゾンの「Kindle」が79ドルなので驚くほどではないが、日本のメディアはどこも「安い」と受け止めている。

「コボ タッチ」は、185グラムと「スマートフォン並み」（楽天の三木谷浩史社長）の軽さで、サイズは114ミリ（幅）×165（高さ）ミリ×10ミリ（厚さ）。片手でも軽く持てるコンパクトさが最大の特長。タッチパネル操作。

無線LANに対応し、電子書籍は無線LANでインターネットに接続した状態で、端末から購入できる。PDFと電子書籍の国際標準フォーマット「EPUB3」に対応しており、日本語の縦書き、ルビなども表示できる。





「kobo Touch」と三木谷社長

この日の会見に臨んだ三木谷社長の表情は晴れ晴れ。アマゾンに一步先んじられた有利さをかみしめながら、「読書離れは国家的な危機。日本で読書革命を起こしたい」と、意気揚々と語った。

ただし、コンテンツは約3万冊で、そのうち1万冊は無料コンテンツと、まだまだ少ない。「ゆくゆくは150万冊を目指す。出版デジタル機構の取り組みもあるので、できない数字ではない」と言うに留まった。また、「楽天が出版社を作って、いずれは作家と直接電子書籍を作る計画はあるか？」という質問には、「出版事業をするつもりはありません」と断言した。